

まず何よりも 市民の意見聴取を

国宝の刀剣取得計画で 橋爪議員が一般質問

橋爪議員は9月23日に一般質問を行い、国宝の刀剣の取得、T P P、地域おこし協力隊の3点にわたっていただきました。

このうち、国宝の刀剣の取得については、現所有者が文化庁に「売渡しの申出」をするに至った経過を詳しくいただきました。この中で、市長は、「市が取得する場合の価格は実勢価格ではなく価格評価を行っ



日本共産党上越市議員団ニュース

No. 517 2016年10月2日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

市長「現在の避難計画には多くの課題」

橋本議員の一般質問に

「30キロメートル圏内の外でも避難計画必要」とも

橋本正幸議員は、9月21日の一般質問で、住宅リフォーム助成制度と原発問題に関して、市長の姿勢をただしました。住宅リフォーム助成制度では、制度の意義と効果を確認し、市民の間から出ている要望について、実現を求めました。その要望は、補助率の拡大と補助限度額の増額、それに再び申請ができるようにしてほしいというものです。市長は、「補助金の交付が個人資産の形成につながることを考えると、補助率の過度な引き上げは避けるべ



た上での価格としたいことを所有者に伝えたこと、刀剣に関する学術研究者などによる価格評価を6月16日に行き所有者に伝えたこと、所有者からの国に対する申出が6月25日付けで岡山県を經由して文化庁に送付されたこと」などを明らかにしました。

こうした中で、橋爪議員は「市民への説明会やWEBでのアンケートなどを行い、市民の意見を聞く考えはないか」といただきましたが、市長は、「講座の開催やホームページ、広報上越などによる情報発信で、取得への理解を得たい。WEBでのアンケートは行う考えはない」と答えました。

橋爪議員が重ねて「市民に理解させるというスタンスではなく、意見をよく聞いて、場合によっては計画を引っ込めることもあるというスタンスで行くべきではないか」とただすと、市長は「まず提案し、対話し、理解を図ったうえで決める。市民の代表である議会による予算と買入れ契約の議決で取得可能となるので、議会の議決に向けて機運醸成を図りたい」と答えました。

きであり、いまだ多くの方から需要があり、まずは、新規申請の方を優先したい」と答えました。橋本議員は、この点について引き続き要望していきたいと語っています。次にいただいたのは、原発について、「県政・市政の重要課題である再稼働問題をどう認識しているか」という点です。この問題は、市民の命に直接かかわることだけに、告示された県知事選挙でも争われていました。市長は、「引き続き、新規制基準への適合性審査を注視する」「国の責任における安全性の確保と安全性や安全対策の評価・確認、再稼働の必要性などを、国民に丁寧に説明し理解を得ることが必要であると考える」として、従来からの不明確な態度表明にとどまりました。

橋本議員は次に、市が昨年示した「原子力災害発生時の避難計画」に関して、「福井県などの訓練において、複合災害への対応が難しいなどの課題が再認識されている。また、限られた範囲での避難計画では不十分ではないか」とただしました。この指摘に対しては、「現在の『屋内退避・避難計画』には、いまだ多くの課題が残されており、他地域で明らかになった課題も含めて、国や県、関係市町村と連携・協力し、課題解決に向けた取組をたゆみなく進めたい」と答えました。また、「およそ30 kmのいわゆるUPZの外であっても避難計画は必要であると考えているので、今後対応していきたい」と答え、一定の前向きな姿勢を示しました。

上野議員と平良木議員の一般質問は、次回以降でお知らせいたします。